

# 歯周病と全身疾患

シリーズ 4

## 歯周病と糖尿病

糖尿病は歯周病を悪化させる因子のひとつであることは知られていますが、同時に歯周病が糖尿病を悪化させる因子でもあることが解明されてきました。糖尿病と歯周病は関係の深い疾患であるとい

糖尿病患者は歯周炎に罹患しやすく、しばしば重度の歯周炎を発症することが知られています。米国歯周病学会のレポートによれば、糖尿病患者では深い歯周ポケットや重度の歯槽骨吸収を有する割合が著しく高いことが明らかにされています。

糖尿病がコントロールされていないと高血糖となり、血管症(基底膜の肥厚)になります。これが様々な合併症の原因となりますが、歯周病においても血管症がみられます。また、プラーク(歯垢)に対する炎症反応においても、細菌を貪食する多形核白血球の機能低下

■糖尿病が歯周病に影響を与えるメカニズム

最近になって、歯周病と糖尿病との因果関係がしだいにわかってきました。歯周病が糖尿病そのものを引き起こすわけではありませんが、歯周病を治療せずにそのまま放置しておくと、口の中に生じる炎症や感染の持続によって、血液中にTNF- $\alpha$ などのサイトカインの量が増え、脂肪組織や骨格筋の細胞の糖の代謝機能を下げ、インスリンに対する抵抗性を高め、インスリンを作用しにくくしてしまうのです。さらに、炎症によ

■歯周病が糖尿病に影響を与えるメカニズム

下と、コラゲナーゼ(細菌が出す毒素のひとつ。コラーゲン線維を溶解する)の機能亢進により、歯周病が悪化します。

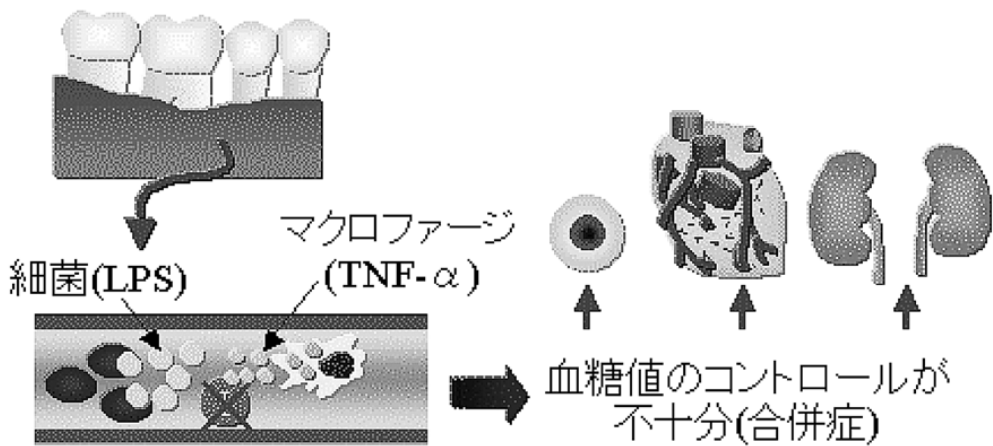
インスリンは血液中の糖の濃度を下げるホルモンなのですが、これがうまく作用しなくなると血液中の血糖値をコントロールすることが困難になり、血糖値が上がります。糖尿病は悪化傾向をたどると、同時に病原菌感染を抑える能力や創傷治療能力まで低下していきま

■歯周病が糖尿病に影響を与えるメカニズム

最近になって、歯周病と糖尿病との因果関係がしだいにわかってきました。歯周病が糖尿病そのものを引き起こすわけではありませんが、歯周病を治療せずにそのまま放置しておくと、口の中に生じる炎症や感染の持続によって、血液中にTNF- $\alpha$ などのサイトカインの量が増え、脂肪組織や骨格筋の細胞の糖の代謝機能を下げ、インスリンに対する抵抗性を高め、インスリンを作用しにくくしてしまうのです。さらに、炎症によ

糖尿病のコントロールをきちんとするためには歯周病をなおすことが重要で、また歯周病を予防したり、進行を防ぐためには糖尿病の治療が大切というようになります。

(おわり)  
(代々木歯科)



## 投稿

### ぶどう膜炎に罹患して

埼玉県・松尾 泉



「くらしと健康」2月号山城先生の「ぶどう膜炎」を読み、24年前の悪夢が蘇り思わず筆を執りました。数少ない症例の患者だった私の小文が、同病者の療養に役立てば幸いです。

1985年4月末、頭痛、耳鳴り、吐き気、嘔声、両眼鈍痛、視力

減退、視野狭さくなど症状のため代々木病院内科を受診。診察のあと眼科に回され、阿部先生の診察の結果「両眼ぶどう膜炎、原田氏病」と診断され、失明の危険があり即刻入院。蛍光眼底撮影などの精密検査により視力0.1、眼圧高く眼底に水がたまって網膜

が剥離、眼底の炎症がひどいとの症状。ステロイド剤の大量投与、点滴、目薬、眼注射、ため水分は一日800ミリリットルに制限、緑茶・コーヒー・紅茶などカフェイン系統の飲み物は禁止、ルーペを頼りに読んでいた赤旗新聞も駄目。まるで生活になりました。

入院35日間。視力の回復、眼圧の安定、炎症もなくなってきたところで、無理にお願いして退院。仕事への復帰は厳禁されたが、内緒で半日勤務に。それが原因で再び発病当時の症状に戻り、7月17日再入院。同じような治療を再開。10日間で退院。今度こそ失敗を繰り返さないため、通院治療に専念し、仕事をとお勧めし、拙文を閉じます。

入院35日間。視力の回復、眼圧の安定、炎症もなくなってきたところで、無理にお願いして退院。仕事への復帰は厳禁されたが、内緒で半日勤務に。それが原因で再び発病当時の症状に戻り、7月17日再入院。同じような治療を再開。10日間で退院。今度こそ失敗を繰り返さないため、通院治療に専念し、仕事をとお勧めし、拙文を閉じます。

後診察を受け、無事を確認しています。失明の危機を救ってくれた代々木病院の適切な診断、治療、看護、予後観察などに心から感謝するとともに、先生の指示に反して仕事に復帰し、治療を長引かせて自らの不明を恥じています。私と同様な症状があったら、早めに眼科を受診することを勧めし、拙文を閉じます。

(代々木健康友の会 顧問)

今号は、薬害・公害について筆者から読者の皆さんに呼びかける特別編としました。

先日、水俣病について触れる機会がありました。

水俣病は公害の原点といわれ、工業排水中の有機水銀により豊かな漁場が汚染され、その魚を主菜としていた人々に、生命、生活、人間の絆に耐え難い被害をもたらした事件です。

排水を流した企業は経済成長の主役であり、加害者として糾弾されることなく、国もその被害を軽視しました。非難の矛先は被害者に向けられ、著名な学者の真実をゆがめた調査報告などにより、事の重大さは限局され、被害者の声は押しつぶされていきました。

20世紀半ばに端を発した水俣病の被害者は、半世紀にわたって裁判を闘い、国、企業の責任を認めさせ、被害の保証を勝ち取ったのです。

国や企業の広大な力、世間の非難や偏見を相手に、心身の苦痛を抱えながら闘ったその過程は、本当に厳しかったことと思えます。

私は薬剤師になっ



## くすりの話あれこれ 38

### 公害や薬害が医療に伝えていること

問 規子 (たくみ外苑薬局・薬剤師)

しいのは、今なお「負の現実」ではないでしょうか。

しかし、企業の発展が生活を豊かにしたこと、そして、薬が様々な病気を癒してきたことも事実です。だからこそ、書をおこさない努力がなくてはならないと思います。

現在の社会状況は、私たちの心身に様々な影響を及ぼし、健康被害につながることも多く、医療の関わりも重要になっていきます。とりわけ、治療の中で薬の占める位置は広く、それ故に副作用や薬害という被害の起こる可能性も高くなっていきます。

公害や薬害―その被害の過程を知り、触れることで、医療を提供する側にも受ける側にも、医療のあるべき姿・何のための医療なのか・が伝わってくる思いがします。

被害者が命をかけて伝えたことを心にとめて、医療に関わっていただきたいと思いました。

## 看護師募集中

問い合わせ先  
代々木病院総看護師長室  
☎ 03-5411-9581